



【写真②】おめかしした晶子



【写真①】キューピー人形と晶子

今回は、柳川古文書館に寄贈された由布昭二家史料のアルバムから紹介します。このアルバムには、明治後期から昭和期までの家族写真が収められています。

同家史料は、戊辰戦争を経験し、福岡県会議員の後、衆議院議員を務めた、幕末から明治の当主惟義や、惟義の息子、喜久雄の2人に関するものが大半です。喜久雄は、大正11(1922)年に東京帝国大学法学部を卒業後、海軍で法律部門を担当。主に横須賀や呉で勤務し、戦後は弁護士となった人物です。

今回紹介する写真2枚の撮影時期は、およそ大正末期から昭和初期。喜久雄の転勤先だった広島県呉市の写真館で撮影されたと考えられます。写真①でいすに座って、キューピー人形を手にするおかつば頭の少女は、喜久雄の娘の晶子。キューピーの存在が、子どもらしさを強調しています。写真①の机の上に写る丸いボーラーハットを被り、胸元のパールネックレスを握りしめる写真②では、逆に少し大人びた雰囲気を感じます。いかにも良家の子女という装いです。

キューピー人形と少女 市史編さん係 小林篤正

キューピー人形は、明治42(1909)年に誕生。アメリカ人女性ローズ・オニールがこの年にイラストを発表します。大正2(1913)年には、世界で初めてドイツ製の人形が誕生し、同年には日本にも伝えられます。

第一次世界大戦(1914~1918年)後の日本では、化学工業が急速に発達。国内の町工場が安価、大量のセルロイド製キューピー人形が製作、輸出されるようになりました。写真のキューピーは、製造元はもちろん、晶子の持ち物か写真館の備品であるかも分かりません。しかし、それだけキューピーが世間に普及していたともいえるでしょう。例えば、昭和5(1930)年には、野口雨情が作詞し、中山晋平が作曲した「キューピーピーちゃん」が発表され人気を博します。キューピーは各種広告類や展覧会、そして理科の教科書にも登場。侍や桃太郎など日本独自のキューピーも登場するなど、空前のキューピーブームとなりました。今も昔も、キューピーのほほ笑みは、私たちの心をほっとさせてくれます。

市史編集委員会では、数年後に写真を中心とした本を刊行する予定です。現在さまざまな写真や絵はがきなどを集めています。隔月1日号に、同委員会で集めた写真を紹介します。
【問】市生涯学習課市史編さん係 ☎72・1275

市史抄片別巻 vol.72 「思ひ出」写真館

ひとを結ぶ。まちを結ぶ。 column No.83 地域おこし協力隊

大都市圏から地方へ人の流れを作り、将来の定住を目指しながら、地方の活性化への貢献を目指すプログラム「地域おこし協力隊」。市で活動する6人の隊員たちの活動を紹介します。
【問】市観光課 ☎77・8563

幻想的な夜の川下り



新しい夜のプログラムをお楽しみください

幼少のころ、父母に連れられ商店街で行われる夜市に行くことがとても楽しみでした。掘割の水面にゆらめく提灯の橙とアヒルのガーガーレースが今も記憶に残っています。

9月に新しいイベント「やながわ水辺の夜市」が始まる予定です。幻想的な光の川下りに風変わりなサーカス、夜の映画館、個性あふれる出店の数々。掘割と水辺空間を最大限に生かした柳川でしかない特別な体験を楽しむことができます。

場所も内容もすっかり変わりましたが、ぜひ家族でお越しください。きっと、子どもにとっては10年、20年経っても忘れられない体験になるはずです。水辺の夜市を楽しんだ子どもが大人になったとき「そういえば小さいころに・・・」と柳川を思い出すきっかけになってくれればと思います。

また、7月から始まった灯り舟は、9月30日まで運行。残暑厳しい9月は、日が落ちて涼しくなってから柳川の夜を楽しむイベントにぜひ参加してください。

新しい文房具を開発中



地域資源を基にした新しい文房具を開発中

地域おこし協力隊に着任してから1年半、早くも折り返し地点です。前回のコラムで、今年度は大河ドラマ招致活動に加え、柳川の歴史や文化などを活かした商品(モノ)や企画(コト)の提案と、実現に向けての活動をしていきたいとお伝えしました。

柳川の観光商品として、柳川の歴史や文化に合ったもの、そしてこれまであまり見かけなかった分野の商品開発をしたいと思い、そのようなものがないか考えをめぐらせました。そこで思いついたのが、文房具です。柳川に息づく歴史や文化、そして多くの文人を輩出した風土などを感じさせるものとして、文房具が頭に浮かびました。

現在、商品化に向けて準備中です。柳川らしい歴史や文化が感じられる観光商品としての企画ですが、文房具であれば実用的で市民の皆さんにも使ってもらえるのではと思っています。柳川の魅力に思いをはせながら、市内外の人に愛用してもらえる商品になることを願っています。



横山 真平 (34歳)
【プロフィール】市観光課に所属。観光プラットフォーム構築を担当



楠田 千佳 (45歳)
【プロフィール】市観光課に所属。柳川プロモーションを担当